

社会福祉法人 健和会

令和6年度 事業報告

1. 理事会・評議員会

第1回：理事会	令和6年5月11日開催
議案第1号	定款変更の件「第8章 収益を目的とする事業」を定款に追加
その他	
第1回：評議員会	令和6年5月22日開催（書面議決）
議案第1号	定款に「第6章の第30条の一部追加と第8章 収益を目的とする事業」を追加
第2回：理事会	令和6年6月1日開催
議案第1号	令和5年度 事業報告
議案第2号	令和5年度 決算報告および監事監査報告
議案第3号	社会福祉充実財産の算定および社会福祉充実計画の作成について
議案第4号	評議員会の招集の件
その他	評議員辞任の件 太陽光発電の状況と自家消費から売電へ変更の件 特養面会方法変更の件
第2回：評議員会	令和6年6月18日開催
議案第1号	令和5年度 事業報告
議案第2号	令和5年度 決算報告および監事監査報告
議案第3号	社会福祉充実財産の算定および社会福祉充実計画の作成について
議案第4号	役員報酬規程改訂の件
その他	太陽光発電システムの売電型へ切替の進捗状況ほか
第3回：理事会	令和6年6月22日開催
議案第1号	現評議員辞任に伴う新評議員選任について
その他	
第4回：理事会	令和6年11月9日開催
議案第1号	令和6年度 第一次補正予算（案）について
その他	太陽光発電の売電方式への変更について 来年度の駐車場借地の購入予定について
第5回：理事会	令和7年3月22日開催
議案第1号	令和7年度 事業計画（案）
議案第2号	令和7年度 予算（案）
議案第3号	経理規程変更の件
議案第4号	就業規則変更の件
議案第5号	土地取得計画について
その他	太陽光発電の現状報告について 令和6年度社会福祉施設指導監査結果について

2. 中期経営計画について

中期経営計画の4年目となる令和6年度は、前年と引き続き地域交流がなされた年となった。地域交流、多世代交流の一環として令和5年度より実施している、法人主催の＜秋祭り＞を今年度も開催した。ご利用者・ご家族・地域の方を含め307名が来設され、地域社会との交流に向けた取り組みを継続的に実施することができている。

また、研修計画を再構築し、階層別のインターバル研修のほか、キャリアアップに関する研修などを実施することで、職員の資質向上への取り組みを行った。

外国人技能実習生の継続雇用については、令和7年度に4名の技能実習生が帰国することから、新たに5名の実習生の受入れを決定した。4月に2名入国、9月に3名入国する予定だが、今年3月に起きたミャンマーでの地震により、出国が2、3ヵ月遅れ7月頃の入国となる予定である。ミャンマーの情勢も不安定であることから今後の状況を注視していく。

3. 法人直轄委員会の開催

(1) コンプライアンス委員会（構成員8名）

※コンプライアンスガイドラインに基づき、投稿されたことについて適宜話し合いを行う。
令和6年度は投稿がなかった。

(2) プロジェクト推進委員会（構成員9名）

年12回開催

※キャリアパス制度の確立に貢献するとともに、健和会の理念・ビジョンを常に考えて行動し、そのもとに立てられた中期経営計画に対し、部署横断的なチームとして施設全体を考える場とした。

4. 地域貢献

●地域貢献の一環として、東員町より委託された家族介護支援事業を実施した。

- ・目的：要介護高齢者を介護する家族等または介護が必要となりうる方々に対し、介護の知識や技術、用具に関する情報や、また軽度の運動や調理、医療情報などを提供することにより介護者の健康維持や身体的精神的な負担を軽減することを目的とする。
- ・対象：東員町内に住所を有する高齢者を介護している家族、近隣の援助者および家族介護に関心を持つ者。
- ・実績：令和6年度の実績は下記のとおりである。

実施日	テーマ・内容	参加実績
7月11日	健康な身体を作る運動（体力測定と運動アドバイス）	18名
8月20日	福祉用具体験 介護予防教室	7名
9月26日	チェアヨガ（椅子に座って行うヨガ）	13名
9月28日	コアチューニング～体感を調律する体操	16名
10月 9日	骨の先生による姿勢・運動教室	16名
11月27日	クリスマスリース作り	13名
2月4日	栄養バランスの取れた料理を作ってみましょう	8名

※今年度も91名と多くの方に参加いただきました。

●その他の取り組み

- ・東員町が行う認知症初期集中支援事業に職員を派遣した。
- ・東員町より地域リハビリテーション活動支援事業を請け負った。
- ・東員町より地域ケア会議支援業務を請け負い、会議に参加し助言等を行った。
- ・長深地区での清掃活動に参加
- ・長深のふれあい活動へ参加

目標	1・行政との連携を模索するとともに、多世代交流ができる環境整備を行う。 2・設備の定期保全を行うとともに設備整備計画を作成。 安定した経営を行うための財務体質の強化を図る 3・利用者サービス充実に向け、階層に応じた研修体系の整備及び職員の資質向上のための計画的な研修実施に向けたサポートを行う。 4・サービスの充実に向けた人材の確保	
実績	目標（値）	実績（値）
	1-1 三重県委託事業の調査を行うとともに、受託資格がある事業については、受託可能か十分に検討し、事業を受託する。	1-1 三重県委託事業については現状、受託が可能な事業が見つからなかった。次年度に向けて委託事業が受託できるように要件を整えていく。
	1-2 中学・高校からの絵画提供などを依頼し、施設内に展示。 定期的に交換することで恒常的に交流を行う。	1-2 学校等の交流についてはインターンシップのみとなった。次年度は近隣中学との交流を模索する。
	1-1 設備台帳及び点検簿を作成するとともに、定期的に点検を行う。異常がある設備については設備整備計画に反映させ、計画的に設備整備を行う。 1-2 申請可能な補助金の調査及び積極的な申請を行う。 費用の洗い出しを行い、各項目に設定した削減率を達成する。	1-1 設備整備台帳の作成を行い、更新必要な機器に関して計画通り更新を行った。また、修繕が必要な部分について補修・修繕を行った。 1-2 申請可能な補助事業に申請を行った。その中でJKAについては車両金額の助成が承認された（令和7年度中納車）。また吉田福祉基金についても車両について申請しており、結果待ちである。 費用削減について、仕入れ部材の変更等を行ったが、水道光熱費やガソリンなどの値上げにより費用の削減には至らなかった。次年度も引き続き費用の削減を行い、経費率の適正化を行う。
	1-1 新たな加算取得に向け、必要な資格取得の支援及び研修の選定を行う。 1-2 職員の資質向上のため、各階層に応じた研修体系を作成、周知を行う。	1-1 新たな加算は取得できなかったが、施設サービス向上として喀痰吸引研修の計画を立案。実地研修を残し1名修了。令和7年度以降も継続していくとともに、認知症に関する研修についても計画を立案してく。 1-2 法定研修について計画策定し、周知・実施を行った。各階層に応じて管理者層及び中堅

		層のインターバル研修を実施した。
1-1 外国人労働者の継続的な受入れ体制の整備		1-1 技能実習生の継続的な雇用を実施 第一期生（5月）第二期生（7月）に帰国 上記と入れ替わりで 第四期生（4月）第五期生（9月）入国予定。 ミャンマーからの実習正を受入予定。 ※ミャンマーの情勢により四期生が3ヵ月程度遅れる予定。
1-2 新たな福利厚生への検討、規則の見直しなど、働きやすい職場環境づくりを行う。		1-2 福利厚生規程の見直しとともに就業規則についても改定を行った。

令和6年度報告 特養・ショート

目 標	1・地域、多世代との交流をしていく 2・稼働率の向上を図るとともにコスト管理を行い安定した財政基盤を確立する 3・家族との連携強化、利用者満足度の向上。 4・人材の確保、働きやすい環境づくり	
実 績	目標（値）	実績（値）
	1-1 年2回の開催を行い、家族間や職員との交流を図る。	1-1 SS年4回(3.6.9.12月)お便り発行。日常の様子3か月先のレク予定、介護看護相談コーナーを掲載。気軽に相談いただける工夫をしている。
	1-2 地域イベント、ボランティアの参加・受け入れを年3回。	1-2 オカリナボランティア、東員アンサンブルの演奏会2回受け入れを行った。 インフルエンザ警報がでて、感染対応中になり3回目が行えなかった。
	1-1 目標年間平均稼働率 特養：99% 短期：70% ベットコントロールを随時更新行い、入居、ショートステイの進捗状況を施設で共有することにより、稼働率の安定を図る。ショートステイの空き状況の案内を他事業所に送る。 1-2 マニュアルについては半年に一回見直しを行う。（9月と3月） 無理、ムラ、無駄に関しては毎月見直しを行う。	1-1 特養：98.2% 疥癬等もあり受け入れ出来ない時期もあり伸び悩んだ。 短期：64.5% 疥癬等で受け入れ出来ない際にLSから入所へ切り替えたりもあり目標に届かず。 1-2 マニュアルの確認を行い半年に一度見直しを行った。また技能実習生の指導マニュアルの見直しを行った。 排泄時のパットの見直しを行った。

		排泄台車のホットキャビネットの水分がたまる トレーの対応を変更し下タオルの使用をやめ た。
	1-1 家族様との連携・関わりを強化するために、現場職員を含め、職員が普段の様子を随時伝えていく。年1回の家族行事実施。 1-2 居住空間の環境整備の強化を図る為、マニュアルを作成（9月末までに）し居住空間の充実を図る	1-1 面会時、普段の様子を伝える機会は増えたと思われるが、家族行事は面会制限もあり行えず。 1-2 居室環境整備の為、掃除のマニュアルを作成した。換気扇、壁紙、居室のカーテン等順番に掃除を行うことで居住環境の整備を行った。
	1-1 行事・機能訓練など月に1回以上のホームページ掲載。 1-2 キャリアパスの進捗状況を毎月確認行い、その際、現場の問題等、情報収集行い職場の環境改善に努めていく。	1-1 行事、秋祭りの様子をホームページに掲載した。一年間で10回の更新行えたが、2ヶ月に1回の掲載となり定期的に行えなかった。 1-2 各職員の面談を行い、目標に沿ったアドバイスを行い、進捗状況を確認した。

令和6年度報告 デイサービス部門

目 標	1・地域住民との交流促進のため、新規のボランティアの受け入れを図る。 地域イベントへの参加。 2・天然温泉や設備を使用してデイサービスのPRを行い、財政基盤を確立する。 3・利用者満足度向上に向けて、職員一人一人のスキルアップのために研修参加を促す 家族参加行型行事を開催する。 4・働きやすい職場の環境づくり	
実 績	目標（値）	実績（値）
	1-1 近隣の市町村からボランティアの受け入れ(1回以上/月) 新ボランティア2件以上登録する。 1-2 東員町のイベントや研修に参加する。（2回以上/年）	1-1 外部ボランティアに月1～4回(年20回以上)来て頂くことができた。オンラインレクも2回実施。冬はコロナ・インフルの感染蔓延防止の為大人数でのボランティアは中止とさせて頂いた。新規ボランティアも6件登録でき利用者様に楽しんで頂くことができました。家族様にも2回程お知らせし参加して頂きました。 1-2 家族介護者教室実施 7/17 18名、3/18 8名 参加していただくことができました。10/20 長深地区「ふれあい活動イベント」に参加し、健康チェックや綿菓子の提供を行った。

	1-1 家族様向けにデイサービスでの介護の体験会（マシーン体験、車椅子体験、模擬介護体験など）を行う。（1回以上/年） 1-2 稼働率 95%以上維持する。 空き情報・機能訓練のパンフレットの定期的な見直し（機能訓練状況や食事、足湯の紹介）配布を行う。見学の受け入れを行う。	1-1 12/18 家族様向けのリハビリ体験会を企画し、7名の参加があった。普段どのようなことをしているのを知ることができてよかったとアンケートにコメントありました。 1-2 稼働率 91.53% 定期的にデイ便りにて、足湯・温泉・リハ機器のアピールを行った。「お試し案内」のチラシを作成し各居宅(※現在取引の無い居宅にも)配布しました。8月・1月にコロナ・インフル感染拡大、8月台風で大幅なキャンセルがあった。
	1-1 各専門の職務内容に合致する、内外部研修に参加する。（1回以上/一人） 1-2 家族参加型の行事实施 ボランティア・季節行事の案内を送る。（2回以上/年）行事担当者と定期的にMTを行う。	1-1 5/4・8入浴、8/21 ポジショニング、12月ノロウイルス、3月腰痛予防(希望者)の内部研修を実施しました。他5名外部研修にも参加。 1-2 ボランティア2回、運動会、100歳のお祝い会2回家族様に案内を送り参加していただくことができました。
	1-1 入所・ショートステイに行く利用者様の直近の状態などを定期的に情報交換を行う。 1-2 スタッフが研修で学んだことをMT時に報告し、デイ全体のスキルアップを図る。	1-1 SSと送迎、感染症、インシデント、アクシデント、虐待疑い、日々の状態報告等定期的に情報交換することができました。 1-2 6月心肺蘇生、8月ポジショニング、9月感染症、12月高齢者に多い薬、2月虐待・身体拘束についてMTにてプリント等配布し伝達研修を実施しました。

令和6年度報告 居宅

目標	1・地域包括支援センター、地域の介護支援事業所との連携強化を図る。地域の方々との交流を深める。 2・介護保険改正に適応し、稼働率を維持・向上させる。 3・研修計画を策定する。研修で得た情報や知識をプラン作成や支援に活用する。 4・人材の育成、確保に努めるため、施設内や地域の専門職との交流を深める。	
実績	目標（値）	実績（値）
	1-1 地域包括支援センターや地域の居宅介護支援事業所と協働し研修会を年1～3回程度行う。年2回、地域包括	1-1 地域の特定事業所加算算定事業所と協働で事例検討会を開催（年1回）。企画・運営を行った。

	とミーティングを行う	
	1-2 地域カフェに訪問し、施設の PR 活動を行う。	1-2 地域のカフェに訪問し、家族介護教室や施設紹介を行った（笹尾、城山、南大社、瀬小泉、山田地区）
	1-1 特定事業所加算 III を算定するため、要件を遂行する。	1-1 特定事業所加算算定要件の項目を遂行。加算の算定を継続できている。
	1-2 給付管理数 専従者 40 件を目指す。	1-2 給付管理数 専従者 年平均 36.3 件
	1-1 研修計画を策定し年間 4 回以上、研修に参加する。	1-1 研修に一人平均、5 回参加している。
	1-2 週 1 回 定例会議を行い、伝達研修や事例検討を通じて、知識を深める。	1-2 週 1 回、定例会議を行い、伝達研修や事例検討を行い、ケアマネジメントの質の向上に努めた。
	1-1 カフェ室を活用し交流会を行う。施設内で、教室（リース作り等）を開催し、職員同士の交流を深める	1-1 第 1 会議室にて、職員交流としてヨガを行った。デイサービスと協働し、しめ縄リース作りを行った。
	1-2 主任ケアマネとして、地域ケア会議に年間 4 回出席する。地域ケア会議に事例提供を年 4 回行う。	1-2 主任ケアマネとして、地域ケア会議に年間 4 回出席。地域ケア会議に事例提供を年 4 回を行い、地域の社会資源について検討する機会を持つ事ができた。。

令和 6 年度報告 有料老人ホーム バーデハウス

目 標	1・地域住民との交流促進のため、新規のボランティアの受け入れを図る。 地域イベントへの参加。 2・施設資源を活用し、安定した稼働率を維持する。 3・入居者のご家族に生活の様子を知ってもらえるよう情報発信することで、交流と連携強化、満足度の向上を図る。 4・サービス充実に向けた職員の質の向上を図る。	
実 績	目標（値）	実績（値）
	1-1 毎月東員町のホームページやチラシなどで情報を収集し、入居者様へお知らせし参加する。 1-2 月に 1 回はボランティアに入っ	1-1 まめまちカフェ入居者様 3 名・長深ふれあい祭入居者様 8 名・文協まつり入居者様 3 名の方が参加されました。 1-2 コロナ・インフルの感染防止のため面会

ていただき、入居者様に楽しい時間を過ごしていただく。またチームオレンジも活用し入居者様の満足度を上げる。	制限もあり、外部からの自由な出入りを禁止としていたため、ボランティアは伊藤様のみ。施設内でのおやつ作りやゲーム、折り紙工芸、イベント行事で楽しんで頂く
1-1 毎月施設内の花壇や畑を利用して、季節の花や野菜を育て収穫し、おやつレクや食事で提供する。 1-2 施設の空き状況を近隣の居宅支援事業所やケアマネに伝え、パンフレットやバーデ通信を40通は郵送し情報を共有する。	1-1 小カブ・さつま芋・キュウリ・トマトの野菜作りと収穫し、スイートポテト作りや食事に使用してもらい入居者様へ提供。パンジー・ひまわり・チューリップ・なども植え肥料、水やりを一緒に実施。 1-2 満床のため空き状況更新はなし。見学と空きができた時の為に入居相談はお受けする。パンフレットを居宅介護支援事業所へ2ヶ月で50通郵送する。
1-1 お花見・夏祭り・クリスマス会などのイベントを家族様と一緒に過ごしていただけるように計画を立て準備する。 1-2 毎月バーデ通信を作成し、レク・ボランティア・誕生会などの様子を請求書と一緒に郵送し、近況を知っていただく。	1-1 コロナ感染防止のため面会制限もあり、ご家族様との行事は行えず。入居者様とお花見・夏祭り・クリスマス会・小人数ずつ地域の行事にも参加する。 1-2 毎月バーデ通信の更新をし、誕生会・おやつレク・創作レク・ネイルサロン・園芸・野菜作り・喫茶の様子をご家族様に知っていただき、お誕生日の入居者様へ写真立てを作成しお渡しする。
1-1 施設内外の研修情報を集め、毎月1名は参加しバーデ内でも勉強会を行うことでスキルアップを図る。 1-2 毎月職員ミーティングを実施し、入居者様や施設内の状況を話し合い改善していく。	1-1 クレーム対応・考課者・吸引器の手順・AED操作・窒息時の対応・BCP（事業継続計画）・廃用症候群とポジショニングの研修を受け伝達する。 1-2 毎月第一土曜19時より（翌週の場合あり）職員全員参加でのミーティングを行い、入居者様・業務内容・その他について話し合い改善を図る。